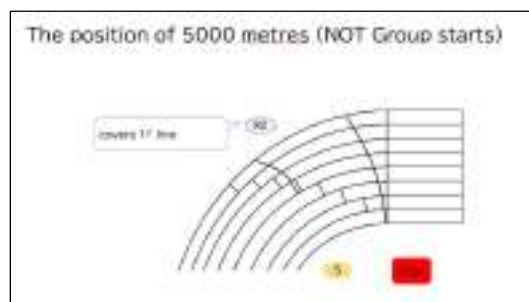
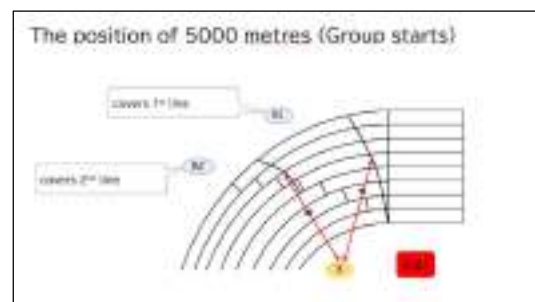
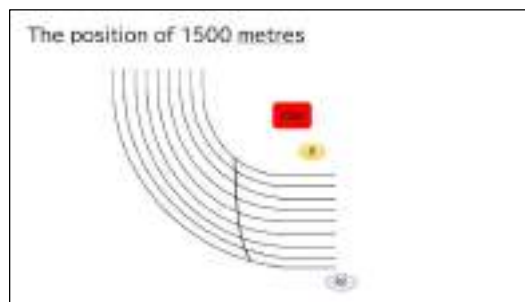
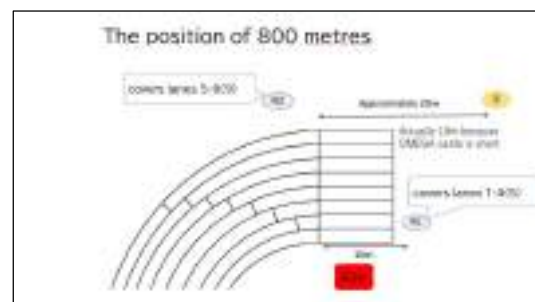
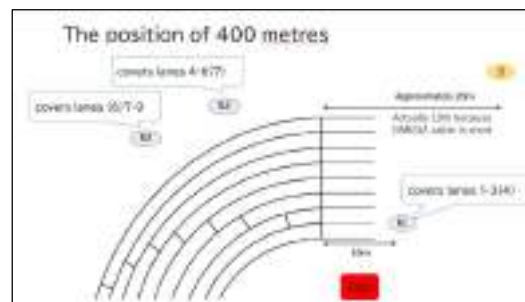
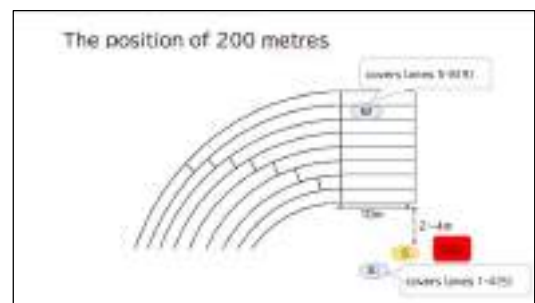


NO.15 (部署) スターター・リコーラー

業務概要	業務詳細
・事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・WPA競技規則の理解 ・WA競技規則TR16.5.3 (スタートルール) 修改の要確認 ・International Starter、Track Referee、Start Referee との積極的なコミュニケーション ・International Starter、Track Referee、Start Refereeが立会いのもと、前日までに立ち位置のマーキングを行い、ポジションを把握しておく ・使用機材の使用法の熟知 (技術者から事前にレクチャーを受ける)
・競技開始前	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートチーム(出発係含む)内での判断基準の共通認識と統一 (ぶれない判定) ・セッションごとに、指名されたスターターはゼロコントロールテストを実施 (審判長・国際スターター・国際写真判定員) ・スタートチームによる打合せ(出発係含む) ・準備を整え、5分前に配置につく
・スタート直前	<ul style="list-style-type: none"> ・選手のスタート前練習をよく観察する (膝や腕の動き、スタブロ使用の有無、障害によるふらつき等) ・スターター・リコーラーがポジションにつくタイミングは、スタート練習が終わった競技者がレーンナンバー標識の前に揃ったとき
・スタート時	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートコーディネーターの指示で定時にレースをスタートさせる
【不適切行為】	<ul style="list-style-type: none"> ・イエローカードの提示は、スターターの意見を聞いた上でスタート審判長が判断する
【偶発的なふらつき】 【局所的な動き】	<ul style="list-style-type: none"> a) 「偶発的なふらつき」により他の選手に不正スタートを生じさせた場合 『例』 6レーンの競技者に局所的な動きがあり、それによって7レーンの競技者が不正スタートした』 →不正スタートした競技者はお咎めなしで、局所的な動きをしてしまった競技者にYCが与えられる スターターのコマンドとしては「Please award yellow card to the athlete in lane 6」 b) 「偶発的なふらつき」はあったが他の選手に影響がない場合 →全員の静止を確認した時点で号砲を撃ちレースは成立 不正スタートや懲戒事項に繋がる動きがなければ、レースの中断や撃ち戻しはない c) スタート動作の開始に繋がる「大きなふらつき」を確認した場合 →スタートに繋がる動きであれば不正スタートと判定し、出発係が当該選手に赤黒カードを示す スターターのコマンドとしては「False start. Please disqualify the athlete in lane 6」 ※ただし、その動きが局所的な動きであるのであれば、上記 b)と同様の対応をする。
【スタートやり直し】	<ul style="list-style-type: none"> ・「Stand up please. Please show green card because of ○○」 →マイクを通して判定の結果と理由を出発係と選手に確実に伝える (出発係がグリーンカードを競技者に示す) ・フィールド競技の声援や競技者の掛け声、観客席の騒音など、状況に応じてスタートのやり直しを考慮 (出発係がグリーンカードを競技者に示す) 「Stand up please. Please show green card because of noisy in the Stadium」
【撃ち戻し】	<ul style="list-style-type: none"> ①不正スタート (不正スタートの疑い) があったとき ②ある競技者の動きにより、他の競技者に不正スタートを生じさせたとき ③オートリコールが作動したとき →Atosと事前確認を行い、チーム内での対応を共通理解する ④機器の不具合や雑音など、外的要因があったとき ⑤800m以上の車いすレースでスタートから50m以内にクラッシュが生じたとき (※義務ではない※) →監察員と連携し選手を呼び戻す
【不正スタート】	<ul style="list-style-type: none"> ・「False start. Please disqualify the athlete in lane ○」 →マイクを通して判定の結果と理由を出発係と選手に確実に伝える (出発係が赤黒カードを競技者に示す)
・SIS	<ul style="list-style-type: none"> ・T11～T13、T20 以外のクラスは電源を切る →International Starter、Start Refereeと役割を確認 ・SIS使用時、反応時間が0.100秒未満の場合、リコールが信号が発せられ、リコーラーのヘッドフォンに信号が届く ・反応時間が0.100秒未満でリコール信号が発信されても、即不正スタートとは限らず、必ず波形図を確認 ・モニターで確認するのは、スターター、スタートコーディネーター、スタート審判長のみとする ・ガイドランナーを伴う場合、選手の左右どちらにつかを申請フォームにより確認
・800m以上の車いすレース	<ul style="list-style-type: none"> ・スタート後、50mを過ぎるまではスタート台上にて要観察
・コーン設置・撤去	<ul style="list-style-type: none"> ・クラッシュの目安となるコーンの設置と撤去 (技術総務より受け取り、スターターが設置と撤去)

・スタブロ必須クラス	・T11～T13、T20 ※クラウチングスタートのみ
・ヘルメット・義肢・義足の着用義務	・T33～T34、T51～T54（ヘルメット要着用） ・T61～T64（義足要着用） ・T45～T47（義肢使用の場合は要着用）
・スタートライン延長	・T11と12のセパレートレーンスタート種目、ユニバーサルレー（スタートラインは用器具係が事前に設置）
・テザー	・T11と、T12でガイドランナーを伴う競技者
・アイパッチ・マスク	・T11（必須）、T12（任意）
・パッドの使用	・上肢切断や上肢の短い競技者
・不安定な姿勢	・T35～T38、T61～T64のスタンディングスタート選手
・選手の入れ込み	<p>a) 立位の選手は、競技者係の誘導によりスタート地点まで組ごとにまとめて移動する</p> <p>b) レーサーの選手は、フロアマネージャーの指示によりトラックを順走（左回り）して移動する</p> <p>・「200m」 → 300m流しをした後、スタートポジションにつく</p> <p>・「400m」「800m」 → 100mもしくは500m流しをした後、スタートポジションにつく</p> <p>・「1500m」 → 200mもしくは600m流しをした後、スタートポジションにつく</p> <p>・「5000m」 → 300mもしくは700m流しをした後、スタートポジションにつく</p>
・トランシーバー	・出発係との連絡用として各班1台ずつの計2台を準備する

The figure of the Starter and Recallers (Positions)



〈態勢〉

ITOs : 【International Starter】Margaret WERRETT (GBR)

【Track Referee】Didier FOULON (BEL)

【Start Referee】

NTOs :

volunteer :

〈連絡先〉

・競技者係：レーサーのスタート前練習

・CD、監察員、写真判定、PCER：抗議中の選手情報伝達

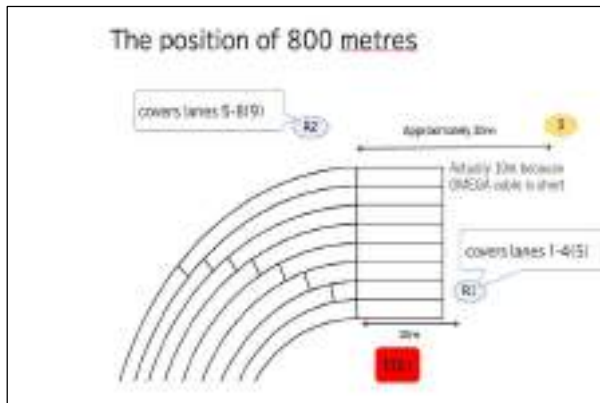
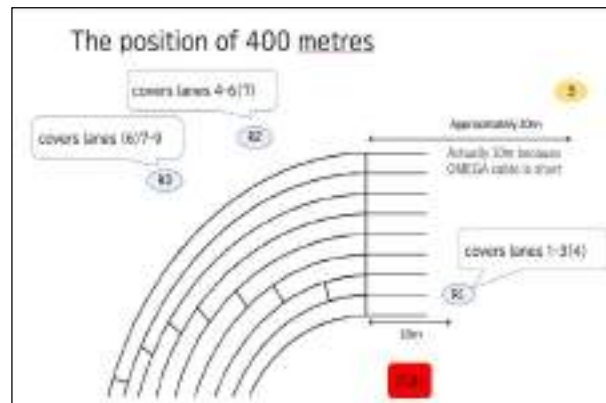
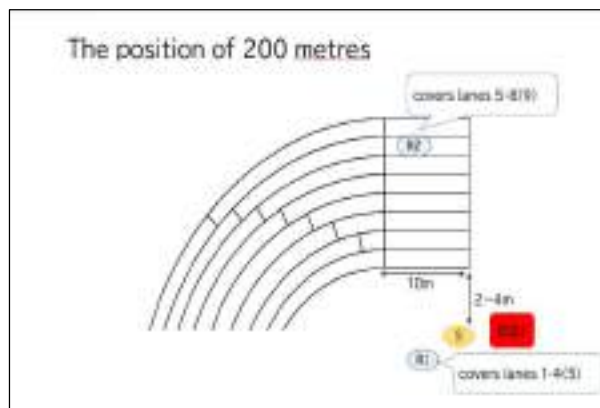
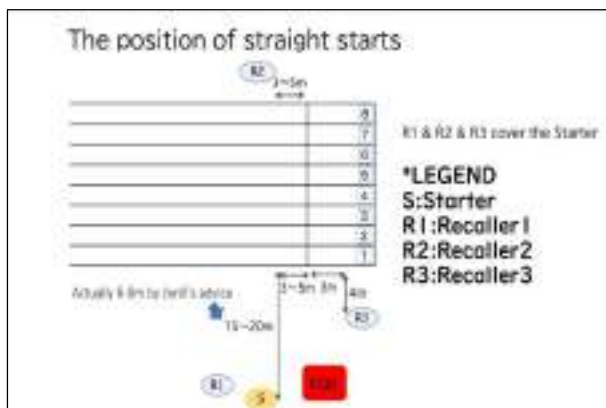
・投てき：スターターポジション調整

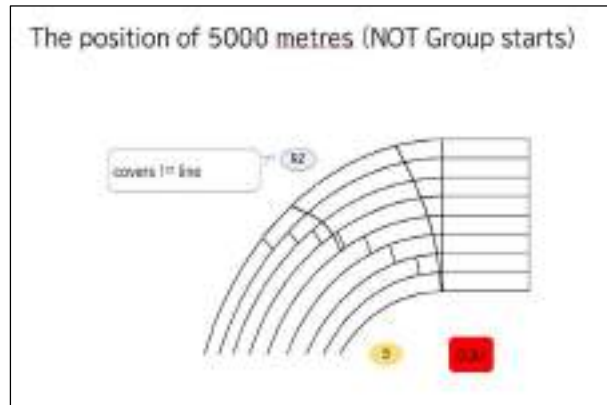
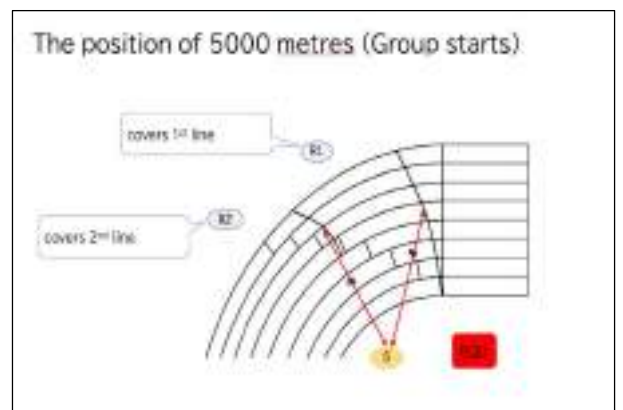
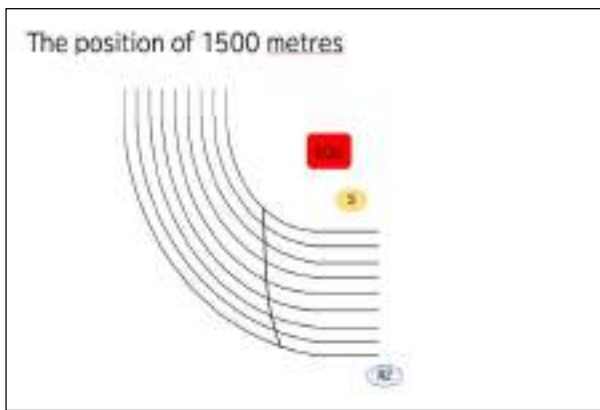
NO.15 (部署) スタートコーディネーター

業務概要	業務詳細
・事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・国際スターターとの事前打ち合わせ並びにスターターの任務割り当て ・リコーラーに対する任務と位置の割り当て ・同じスターターが同じ競技の全てのラウンドをスタートさせる ・スターターやリコーラー、出発係のスタートエリアでの立ち位置や行動を計画 ・使用機材の使用法の熟知（技術者から事前にレクチャーを受ける）
・競技開始前	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートチームの掌握 ・セッションごとにゼロコントロールテストを実施（審判長・国際スターター・国際写真判定員） ・スタートチームによる打合せ(出発係含む) ・準備を整え、5分前に配置につく
・競技中	<ul style="list-style-type: none"> ・スタート審判長、Atosとの連携・仲立ち ・スタートチームメンバーの任務実行の監督 ・競技を時間通りに進行（選手入場から整列までのコントロール） ・車いすレースの流しをどのように行うか確認 → 競技者係が選手へ声かけを行う。競技者係からの情報を得て対応する ・EPMと連携し、種目・ラウンドの開始とスタートが重ならないように注意 ・マーシャルと連携しスタート位置周辺の安全確保 ・出発係とも準備完了の最終確認を行い、完了の旨をEPMに連絡し、EPMからの指示をスターター・出発係へ伝える ・フィールド競技の声援や競技者の掛け声、観客席の騒音など、状況に応じてスタートのやり直しを考慮 ・スタート手順の中で生じた全ての資料の保存（リアクションタイムと波形図の両方またはいずれか） ・際どい判定の際は、ビデオ記録係と連携し迅速な判断を心掛ける ・抗議中の選手がレースに参加する場合、CD、監察員、写真判定、PECRに連絡（ITOスターター審判長からTDに連絡） ・100mスタート内側で砲丸投が実施されている場合、スターターポジションを調整

- ・選手の入れ込み
- a) 立位の選手は、競技者係の誘導によりスタート地点まで組ごとにまとまって移動する
 - b) レーサーの選手は、フロアマネージャーの指示によりトラックを順走（左回り）して移動する
 - ・「200m」 → 300m流しをした後、スタートポジションにつく
 - ・「400m」「800m」 → 100mもしくは500m流しをした後、スタートポジションにつく
 - ・「1500m」 → 200mもしくは600m流しをした後、スタートポジションにつく
 - ・「5000m」 → 300mもしくは700m流しをした後、スタートポジションにつく

The figure of the Starter and Recalls (Positions)





〈態勢〉

ITOs : 【International Starter】Margaret WERRETT (GBR)

【Track Referee】Didier FOULON (BEL)

【Start Referee】

NTOs : 柴田 達也

volunteer :

〈連絡先〉

・競技者係 : レーサーのスタート前練習

・CD、監察員、写真判定、PCER : 抗議中の選手情報伝達

・投てき : スターターポジション調整